

# 地方宿泊集積地の面的活性化 について

5年前



休廃業旅館



旧青果店



旧洋品店

今



ホテル



ビアバー



カフェ



「温泉街の再生やりたいって！？」  
どうすれば……」

株式会社地域経済活性化支援機構  
執行役員・マネージングディレクター 大田原 博亮

# 1-1. 長野県山ノ内町湯田中温泉

スノーモンキーという**集客の目玉**があるのに、**素通りされる**悲しい温泉街・・・



※ 長野県・町によるスノーモンキーのプロモーション強化等の影響も含む

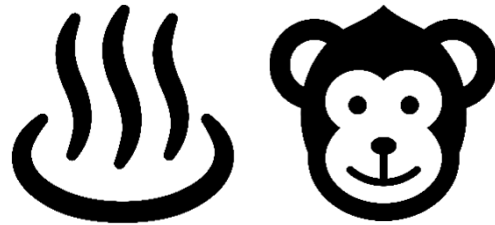
(出典：長野県 外国人延宿泊者数調査) 1

## 1-2. REVICとして湯田中温泉に取り組み始めた理由

○よく見れば、湯田中温泉は、**活性化の潜在力が極めて高い**ところ。

○なのに、**カネとヒトのハードルが高く**、誰も手をつけなかった・・・。

⇒ 地銀とREVIC、地元少数有力者で、まずは**踏み出した**



**お客さんがすぐそばにいっぱい！**



**使える遊休不動産がいっぱい！**

でも、カネがかかるな・・・

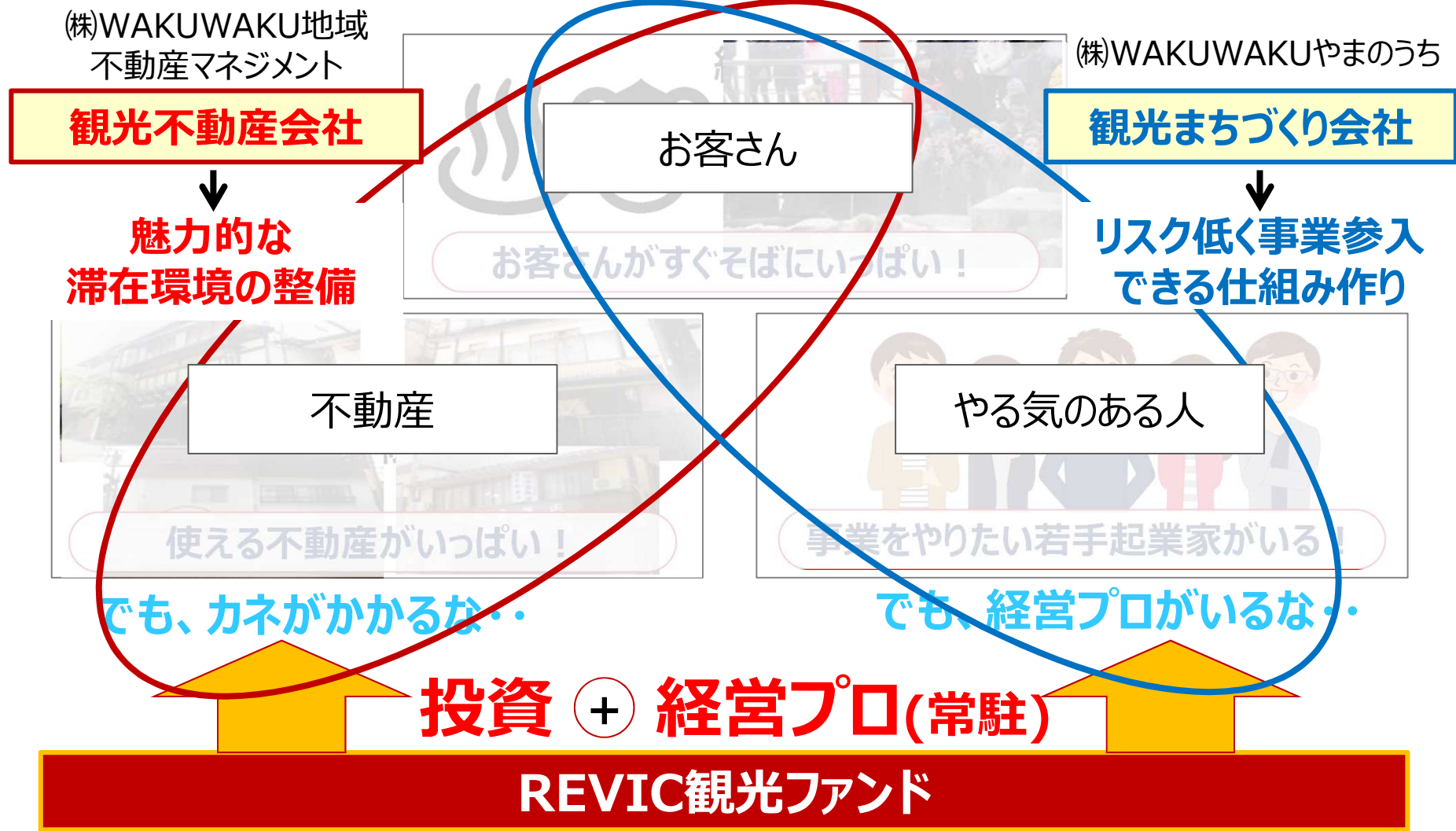


**事業をやりたい若手起業家がいる！**

でも、経営プロが要るな・・・

# 1-3. 湯田中温泉でのREVIC支援モデル

ハードルを解決するため、**REVICファンド**から**投資と経営プロ(常駐)**を投入



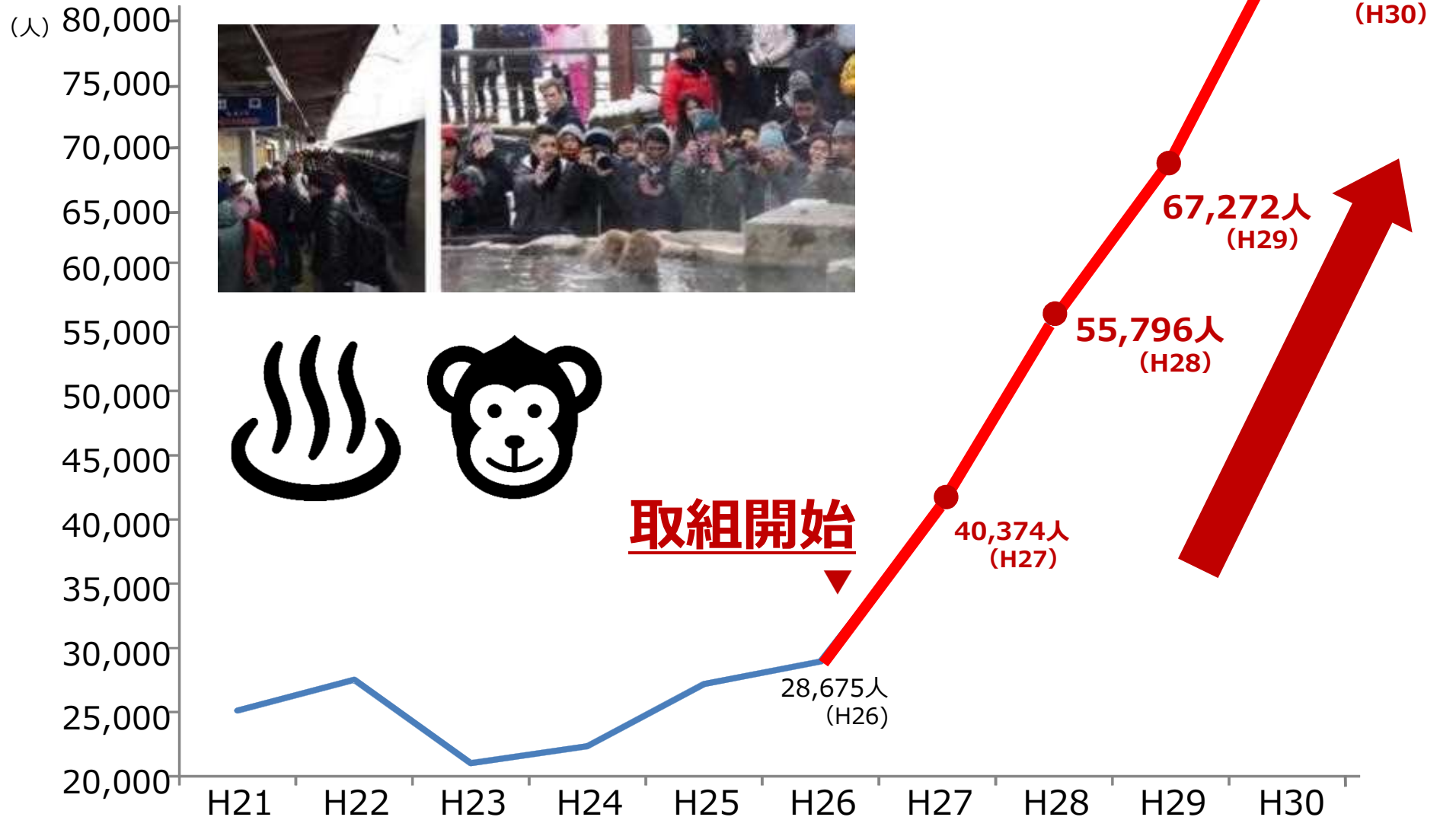
# 1-4. 成果 : ①新たな投資の呼び水に

## REVICによる取組みにより、**新たな投資の呼び水に**



# 1-4. 成果 : ②インバウンド延宿泊者数の増加

## 山ノ内町の外国人延べ宿泊者は急伸※



※ 長野県・町によるスノーモンキーの 프로모ーション強化等の影響も含む

(出典：長野県 外国人延宿泊者数調査)

## 2. 湯田中の振り返りと横展開

湯田中  
モデル

地域の期待・期待・期待・・・

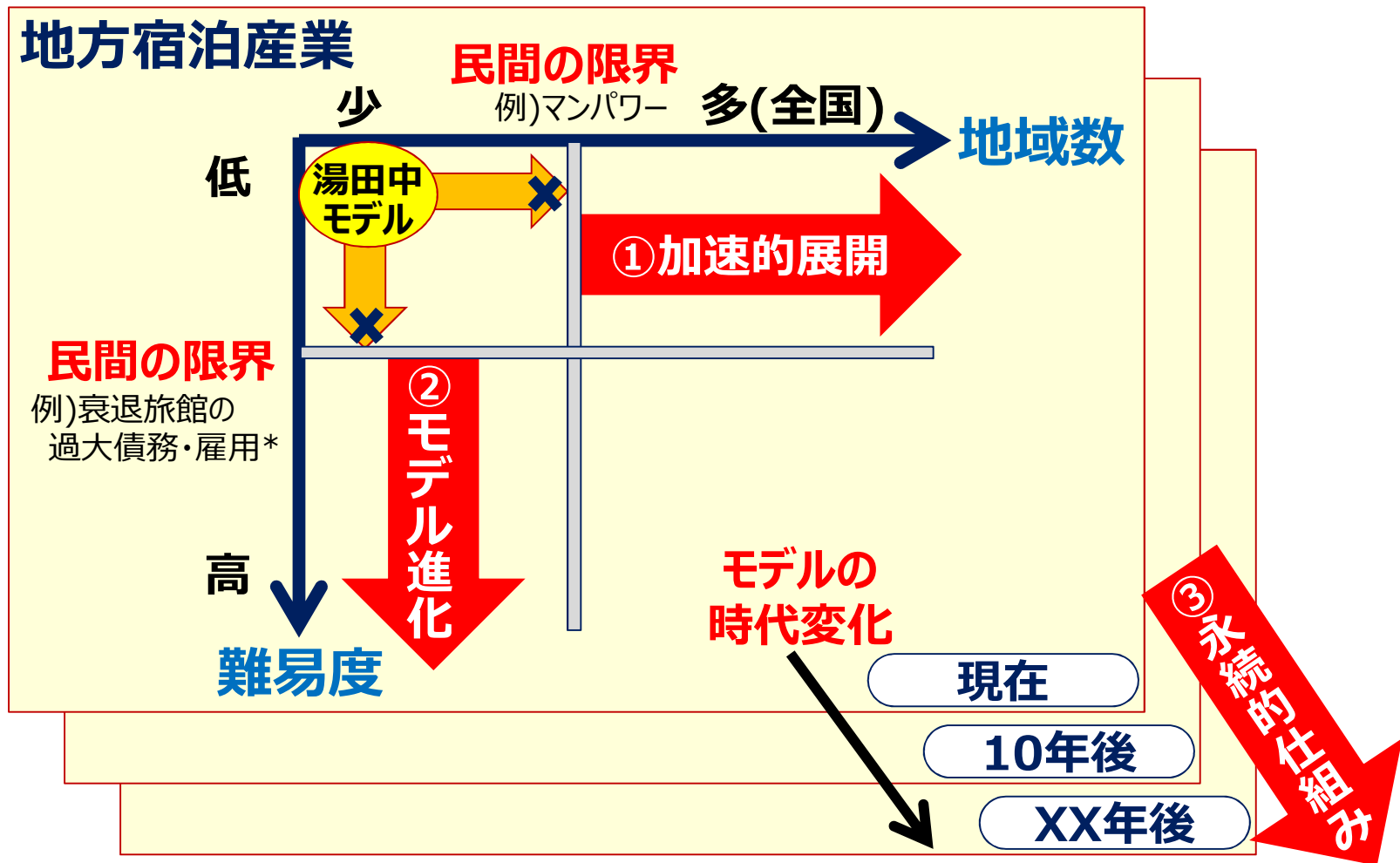
モデルの  
横展開

でも、湯田中モデルで、全て解決できるのだろうか？？？

	お客さん	不動産	やる気のある人
湯田中 モデルの 成立条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド(スノーモンキー)</li> <li>・多くの日帰りインバウンド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの小規模遊休不動産(旅館等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内に若手起業家の存在(宿泊・飲食等)</li> </ul>
他の地域 の条件例 (志賀高原)	同上(同じ山ノ内町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模旅館/過大債務</li> <li>・厳しい自然環境(廃業したら猿の棲み処等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロ事業者がない</li> </ul>
難易度比較	変わらない	難易度アップ°	難易度アップ°

横展開には、モデルを地域の実情に合わせ工夫していく必要！！

### 3. 提言（仮説）



湯田中モデルを、①全国に加速的に、②モデル進化させながら、時代変化に合わせ③永続的な仕組みとして展開するためには、国の積極的な関与が必要

\*衰退旅館の中には過大債務や雇用の心配から退出できないケース多い→退出しやすい環境整備など